

5. Thallykothanoor村の既存地下水涵養設備の修繕(インド)

- 実施団体:Tamil Nadu Board of Rural Development (TNBRD) (#298)
- 実施地:インド Tamil Nadu州 Thallykothanoor村
- プロジェクト予算:3,695ドル(JWFファンド1,500ドル、団体1,705ドル、受益者490ドル)
- 受益者数:460人(男性180人、女性170人、子ども110人)
- 実施地の水問題:

Thallykothanoor村は傾斜地にあり、降雨による土壌流出が顕著である。この地域では、チェックダムや、浸透池、蛇籠といった土壌浸出を防ぎ、水を貯える設備が建設されている。設置から15年以上が経過し、維持管理が不十分なため周辺には雑草が生え、沈殿物が溜まっている。このため、貯水能力が徐々に減少している。



既存のチェックダム



既存の浸透池

- 主な活動内容:関係者との初回ミーティング、住民による維持管理委員会の設立とメンバーへのトレーニング、チェックダム(10m四方×深さ4m)・浸透池(10m四方×5m)・蛇籠の修繕と周辺の整備
- 特長(持続性):住民による委員会が維持管理を監督する。
- 団体:42年にわたって農業、教育、村落開発に取り組む。直近では2018年から類似プロジェクトを実施。

JWFファンド2021 完了報告 概要

5. Thallykothanoor村の既存地下水涵養設備の修繕(インド)

実施中の様子



地下水涵養設備の修繕



設備周辺の不要林の
撤去と掘削

現場からの声(抜粋)



Rangannathanさん
(男性、62歳、農業者)

設備が改善されたおかげで、花卉栽培が格段に改善されました。これまにもましてたくさんの、そして良好な花卉を算出できるようになり、売却単価もアップしました。

実施後の様子



地下水涵養設備の完成



住民への教育の様子



Sankarappaさん
(男性、51歳、委員会リーダー)

我が家は、12人の大家族で、所有する畑だけでは生活ができず、近郊の町で日雇い仕事に従事していました。今回の地下水涵養設備の修繕により、畑にも十分な水が行くようになり、花卉以外にも豆やトマトなども収穫できるようになりました。また近くの他の農民にも、我が家の収穫を手伝ってもらうなど、就労の機会を提供できるようになりました。